

## 統合国際深海掘削計画 (IODP) 会議報告書

提出年月日: 平成 21 年 9 月 7 日

氏名: 山崎俊嗣

所属 (職名): 産業技術総合研究所 (研究グループ長)

会議名	SPC (Science Planning Committee)
期間 (移動を含む)	平成 21 年 8 月 23 日 ~ 平成 21 年 8 月 29 日
用務地 (国・都市)	ドイツ・キール
目的	IODP の科学計画について議論、策定する

### 会議内容及び報告事項

日本からの参加者: Jim Mori (議長)、大河内直彦、笠原順三、掛川武、高田亮 (以上、正規委員)、佐藤博明、山崎俊嗣 (以上、代理委員)、朴進午 (SSP リエゾン)

#### 1. 報告事項

Funding Agencies, IOs, SAS panels, IODP-MI からの活動報告の中で特に重要と思われる事項:  
 ・ JOIDES Resolution は 2013 年まで年間の約 70% を IODP のために運航できる見込み。MSP は GBR の後、2013 年までに 2 航海実施できる見込み。  
 ・ IODP-MI による 3 年毎の Review が行われる。SAS の機能, SAS, IODP-MI, IO 間の関係についてなど。

#### 2. 審議事項: 以下は主なコンセンサス

##### (1) JOIDES Resolution のスケジュール

2010.4-6 Non IODP

2010.7-9 Juan de Fuca (Observatoryの設置)

2010.9-11 South Pacific Gyre (Microbiology)

2010.11-2011.1 Louisville Seamount chain

2011.1-3 Superfast spreading (1256Dをさらに掘削) + CRISP-A( コスタリカ沖沈み込み帯) (1 つの Expedition で両方やる。CRISP-A が少なくとも 50%, 1256D の hole condition 次第でさらに増える可能性あり)

2011.4-6 Non IODP

2011.7-9 Mid Atlantic Ridge Microbiology

##### (2) 「ちきゅう」のスケジュール

「ちきゅう」は FY2011 には IODP のため 5 ヶ月運航される。スケジュールは優先順位の高い順から、

**Case 1** (top priority) (1) Site NT2-01 (observatory); (2) Site NT3-01 (riser drilling); and (3) Site NT3-01 (riserless observatory).

**Case 2** (second priority): riser drilling at Site NT3-01

**Case 3** (黒潮が強すぎてライザー掘削ができない場合): (1) Site NT2-01 (observatory); (2) Site NT3-01 (riserless observatory); (3) NT3-01 (non-riser drilling of riser top hole); and (4) 沖縄トラフ Deep Biosphere (Proposal 601-Full3)

##### (3) 柔軟性を持った Expedition の実施方策について

プロポーザルの主目的を保った上で、科学的な成果を最大化するため、SPC はケースバイ

ケースで、Expedition の目的の合体、研究者・乗組員構成の合体、Expedition の日数の短縮・延長について、その可能性を審議する。今後の航海のスケジュールリングを考える上での参考とするため、SPC は IODP-MI に対し、現在 SPC あるいは OTF にあるプロポーザルの提案者にコンタクトして、実施するための期間を短縮する可能性という観点から、プロポーザルに含まれる科学目的に優先順位をつけてもらうことを依頼する。

(これは、運航日数が限られ、SPC に多くのプロポーザルが溜まっている現状において、2013 年までにできるだけ多くの成果を出す必要があるという認識から、“Flexible Expedition Implementation” Working Group を作って検討されたものである。)

( 4 ) Expedition Review: NanTroSEIZE Stage 1

SPC は Expedition 314, 315, 316 の post-expedition reports を高く評価し、NanTroSEIZE Stage 1 航海の乗船研究者、共同首席研究者、プロジェクト運営チーム(PMT)、及び CDEX が expeditions を横断し統合する努力に成功したこと及び、高品質の成果を早く公表したことを賞賛する。

( 5 ) EDP vice-chair

EDP から vice-chair を 2 名置くことの承認を求められたことについて。Terms of reference に反するため認められない。EDP に差し戻す。

( 6 ) APL 712, 728, 742 は deactivate

3 . その他

今回の会議で Jim Mori 氏が議長の任期を満了された。次回からの Vice-chair( 2 年後の chair ) 候補として笠原順三氏がノミネートされた。SASEC の承認により決定される。

次回は平成 22 年 3 月にオーストラリアのシドニーで開催予定。

備考	
----	--

事務局又は J-DESC へのご要望・コメント等

欧米の PMO からは SPC member が出ている。J-DESC 執行部からも継続的に SPC member を出す必要があると感じた。